

## やまと21世紀ビジョン

本県における総合開発計画は、戦後、農業用水の確保を主とした十津川・紀の川(吉野川)総合開発計画に始まり、その実施途上、国土総合開発法による特定地域として吉野熊野が指定され、熊野川(現新宮川)水系の発電と森林資源開発を主とした吉野熊野特定地域総合開発計画が策定されました。これにより昭和31年度を初年度とし、電源開発、林産資源開発、農産資源開発、国土保全事業、交通条件整備事業等が実施されてきました。

昭和38年には、奈良県新総合開発計画を策定し、大都市近郊としての機能を受け持ち、工業開発を主軸とした発展を期待し、その時代に即応してきました。

その後、経済の高度成長がもたらしたひずみの是正を図るため、昭和43年に昭和50年を目標年次とする第2次奈良県新総合開発計画を策定し、土地利用計画の策定とその方向づけ、公害防止条例の制定と施行、水需給の長期見通しとその対応策をはじめ、自然環境保全条例の制定施行等、緑地の保全、県営上・下水道の着工等に取り組みとともに、産業基盤の整備、社会福祉事業等それぞれの事業を実施してきました。

昭和48年には、人間生活優先、環境重視の対策をさらに充実強化すること等を柱に、目標年次を昭和60年とする県長期基本計画(第3次)を策定し、古都保存特別地区の公有化、大気汚染測定局の整備等の環境の保全、大和川上流流域下水道、大洲池公園等都市公園の整備等、生活・産業基盤の整備、高等学校の新設等教育環境の整備及び県立奈良病院の開設等医療の確保等、各般にわたる施策を積極的に推進してきました。

その後、さらに自然環境の保全と良好な移住環境の確保、公害の防止等に力を注ぐことを主眼として、昭和51年度には、長期的な展望に立った将来の適正人口の検討を行いました。その結果に基づき、さきに策定した第3次計画の目標人口169万人を143万人に変更しました。

さらに、昭和52年度には、適正将来人口の新たな設定に伴い、第3次計画の基本的方向は堅持しながら修正を行い、昭和53年に県長期基本計画(第3次)[修正計画]を策定しました。

その後、21世紀を展望しながら、美しい自然環境のもとで、健康で豊かな家庭生活を築きつつ平和で楽しい社会生活を共にし、世界各国とも直結した奈良県づくりの指針となる計画を策定するため、昭和59年に経済の繁栄をめざした「県長期基本構想」を策定しました。平成4年には、その後の社会経済情勢の変化・進展や構想・計画段階であった事業の具体化も進んできたため、県長期基本構想の基本的な方向は堅持しつつも新たな施策を展開していくため「県長期基本構想(修正)」を策定しました。

引き続き、社会の新たな潮流や本県の特徴・課題を踏まえ、「世界に光る奈良県づくり」を基本目標に新しい奈良県づくりの指針となる「県新総合計画」を平成7年3月に策定し、平成13～17年度までの5か年を計画年度とする後期実施計画に基づき、計画的な県政を運営してきました。

そして、平成18年3月には、私たちのまわりに押し寄せている「少子高齢化や人口減少などの人口問題」、「地球温暖化に代表される自然や環境の問題」、「情報通信分野などにおける科学技術の急速な進歩」など、これからの社会のあり方を根底から変化させる大きな潮流を踏まえ、県民の皆様と共有する奈良の目指すべき道と見做すべしとして、「世界に光る奈良県づくり」を基本目標とする「やまと21世紀ビジョン」を策定しました。また、あわせて2006年から2010年までの5年間に県が主導的に取り組む事業をまとめた「やまと21世紀ビジョン実施計画(2006～2010)」を策定し、「やまと21世紀ビジョン」の実現に向け、切れ目のない県政を推進しているところです。

## やまと21世紀ビジョンの概要(2006年3月策定)

### 〈ビジョン策定の趣旨〉

わが国全体が確固とした方向性を見出せない状況にある中、私たちのまわりに押し寄せている「少子高齢化や人口減少などの人口問題」、「地球温暖化に代表される自然や環境の問題」、「情報通信分野などにおける科学技術の急速な進歩」など、これからの社会のあり方を根底から変化させる大きな潮流を踏まえ、県民の皆様と共有する奈良の目指すべき道と見做すべしとして策定。

### 〈計画の役割〉

- ・県の最上位計画として、県の目指すべき目標や施策の基本的方向を明らかにする県政運営の基本方針
- ・県民をはじめ、NPO、企業、市町村、国などとの協働や協力を期待

### 〈目標年次〉

- ・子どもたちが親の世代にかわる、ほぼ30年後の2035年とする。

## ●未来社会の予測と展望

〈激動する日本、そして世界〉

1. 人口 人口減少がさらに進み、2050年には1億人を下回る？
2. 自然・環境 地球温暖化の影響などにより、大規模な自然災害が頻発？
3. 科学技術 科学技術の進歩により、人間型ロボットと暮らす社会が現実には？

〈様変わりする社会と生活〉

1. ライフスタイル ころの豊かさが重視され、ライフスタイルも変化！
2. 経済・産業 経済は総じて低成長に。しかし新しい分野の産業が発展！
3. グローバリゼーション 地球規模での交流が深まり、日常生活にも大きな変化が！
4. 地域 住民が主役の協働型の地域社会、そして「住民自治」の確立へ！

## ●奈良の三つの個性

- ・歴史の“奈良” ～世界遺産など本物に触れ、感動し、満足の時を重ねる～
- ・住まいの“奈良” ～ゆとりあるライフスタイルで、にぎわいのあるまちに住む～
- ・共生の“奈良” ～家庭や社会の絆を強め、こころ豊かに暮らす～

## ●2035年奈良の将来像

奈良の三つの個性に基づいて、住民の暮らしを、住民の目線で

「安心」、「元氣」、「誇り」、「憩い」、「未来」とそれを支える「地域経営」のあわせて6つの将来ビジョンにまとめるとともに、47の数値目標「奈良未来目標」を設定。そして住民やNPO、企業、行政などが協力して地域資源を効果的に使い、「住む人々には安心でこころ豊かな暮らし」と「訪れる人々には感動と満足のとき」を実現し、基本目標の「世界に光る奈良県づくり」を目指す。

### 「安心」

人々が健康で長生きでき、災害や犯罪の被害にあわず、地域で安心して暮らせる奈良を目指す。

- ◇健康 ～みんなが元気で長生きする～
  - ・奈良を健康長寿日本一に
  - ・安心できる医療を
- ◇福祉 ～高齢者や障害者が安心して地域で暮らす～
  - ・在宅中心の介護に
  - ・障害者が就労できる環境に
- ◇安全 ～自助・共助・公助で安全な社会を築く～
  - ・大規模地震の被害を軽減！
  - ・洪水の被害を軽減！
  - ・犯罪の少ない奈良に

### 「元氣」

新たな産業が起り、人々が行きかい、働き、元氣に活動できる、活力ある奈良を目指す。

◇営む ～地域の特性を生かした産業を興す～

- ・起業しやすい環境づくり
- ・活気のある奈良に
- ・地域特性を生かした農林業の推進

- ◇働く ～ライフスタイルに合わせて働く～
  - ・誰もがライフスタイルに合わせて働ける奈良に
  - ・女性が安心して働ける環境に
  - ・高齢者が積極的に社会参加！
  - ・若年無業者（ニート）をゼロに
- ◇移動する ～ひとものが快適に行きかう～
  - ・遠くへの移動も早く、快適に！
  - ・日常生活での移動が円滑に
  - ・交通事故死傷者が減少

### 「誇り」

受け継いだ歴史や文化とふれあい、こころの豊かさが実感できる、誇りある奈良を目指す。

◇歴史文化 ～新しい文化の古都“奈良”を創る～

- ・歴史文化への誇りあふれる奈良に
- ・世界遺産等から日本の文化を発信！
- ・芸術活動に住民が積極的に参加

◇支えあい ～互いを認めあい、地域を支えあう～

- ・ボランティアが支える地域社会
- ・地域でのこころの交流の深まり
- ・人権が大切に守られている暮らし

◇ゆとり ～手間ひまかけて、じっくり過ごす～

- ・スローライフが息づく奈良に
- ・ライフスタイルに合わせた住まい

### 「憩い」

豊かな風土を守り育て、住む人々に心地よい暮らしを、そして訪れる人々には憩いと安らぎを提供する「おもてなし」の奈良を目指す。

◇観光 ～泊まる、「奈良」。じっくり楽しむ～

- ・泊まる奈良観光を倍増！
- ・外国人が繰り返し訪れる奈良に

◇景観 ～ふるさと奈良の景観をみんなで作る～

- ・自然あふれる、歴史的景観の形成を
- ・まちなかや沿道に奈良らしい美しさを

◇にぎわい ～ひとびとがふれあい、にぎわう～

- ・いきいき「えきまえ」
- ・のんびり、じっくり交流促進

### 「未来」

子どもたちの笑い声があふれ、美しい自然や環境に囲まれた未来の奈良を目指す。

◇子育て ～楽しく育て、健やかに育つ～

- ・次世代を育成する意識の定着
- ・家庭・家族の絆を
- ・みんな子育て

◇学び ～自立した社会人を育む～

- ・社会で暮らす基礎力を
- ・社会で活躍できる人に

◇環境 ～さまざまな命とともに生きる暮らしをつなぐ～

- ・循環型社会の構築
- ・豊かな緑と清流に囲まれ、自然とふれあう

・地球温暖化の防止

「地域経営」

住民やNPO、企業、行政などが協働して、地域が有する資源を効果的に使い、さまざまな課題に取り組む奈良を目指す。

◇行政経営 ～住民とともに協働し、効率的で開かれた行政経営を進める～

- ・協働・参画型の行政運営が展開される奈良
- ・満足できる行政サービスを提供
- ・財政状況が改善

●やまと21世紀ビジョン なら未来目標2035  
2035年を目途に、ブレイクスルー型(現状打開型)の目標、あわせて47設定。

●「やまと21世紀ビジョン」の実現に向けて

今後5年間に県が主導的に取り組む「やまと21世紀ビジョン実施計画(2006～2010)」を同時に策定し、3つの戦略資源である「人」、「県土」、「遺産」を活用した具体的施策や事業を進める。

また、着実な進捗を計っていくために、総合的な政策マネジメントシステムを導入・推進する。

さらに、社会情勢の変化や制度の変更などに応じて、ビジョンや実施計画についても必要を見直しを行う。

◇なら未来目標一覧表

将来ビジョン	政策分野	なら未来目標
安心	健康	健康長寿 日本一 寝たきりゼロ 日常的に必要な医療サービスの充足率 100%
	福祉	在宅で介護を受けている人の割合 70%へ増 就労を希望する障害者の就労率 限りなく100%
	安全	大規模地震発生時の想定人的被害 2004年想定(現行想定)の1/3 洪水による床上浸水 ゼロ 刑法犯認知件数 ピーク時から半減
元氣	営む	新規開業事業所数 倍増 一人あたりの県内総生産額 380万円へ増 戦略的な農産物の生産額 40億円へ増 奈良県産材(地域取証材)の産出額 110億円へ増【参考値】44万m <sup>3</sup> 生産
	働く	働き盛り世代(20歳～64歳)の就業率 80%へ増 子育て世代の女性(35歳～49歳)の就業率 70%へ増 高齢者(65歳～74歳)の就業率 50%へ増 若年無業者(ニート) ゼロ
	移動する	主要な地点間の移動時間の短縮 ・リニア奈良駅～東京駅 65分 ・奈良～十津川 80分 ・関西国際空港～吉野 80分 日常の移動手段に不便を感じていない人の割合 80%へ増 交通事故死傷者数 7,000人へ減
誇り	歴史文化	奈良の歴史文化を誇りとして語ることのできる人の割合 80%へ増 拠点エリアへの来訪者数 20%増 文化芸術活動者数 22万人へ増
	支えあい	ボランティア行動者率 80%へ増 地域での交流がある人の割合 80%へ増 人権侵害事象(人権侵害事件の受理件数) 半減
	ゆとり	スローライフを意識して生活している人の割合 80%へ増 住宅及び住環境に対する満足度 80%へ増
誇い	観光	宿泊者数 700万人へ増 外国人来訪者数 800万人へ増
	景観にきらい	奈良の景観を美しいと感じる人の割合 限りなく100% 「えきまえ」通りの通行者数 50%増 中山間地域への来訪者数 40%増
	子育て	合計特殊出生率 2.08へ増 毎週家族団らんの機会を持つ人の割合 限りなく100% 子育てが楽しいと感じる人の割合 限りなく100%
未来	学び	学習到達度調査の目標達成率 100% 子どもの問題行動等の件数 2004年度の1/10 新規卒業者が職場に定着した割合 70%へ増 生きがいづくりや技能向上のため学習したことがある社会人の割合 80%へ増
	環境	一人あたりのゴミの排出量 半減 自然とふれあう機会を持つ人の割合 80%へ増 ホテルが生息する河川延長の割合 3倍増 広葉樹林等の割合 46%へ増【参考値】50%(50年後) 一人あたりの二酸化炭素排出量 1990年の数値に対して46%削減
地域経営	行政経営	協働・参画型事業(実施計画)の割合 3倍増 行政サービス全体について不満との評価をしない人の割合 80%へ増 県民収入に対する県債残高の比率 半減

## やまと21世紀ビジョン実施計画(2006～2010)の概要

### 〈実施計画策定の趣旨〉

「世界に光る奈良県づくり」を基本目標とする「やまと21世紀ビジョン」の着実な実現と県政における緊急の課題などの解決に向けて、2010年までの5年間、県が主導的に取り組む事業をまとめた「やまと21世紀ビジョン実施計画(2006～2010)」を策定。

### 〈計画の役割〉

- ・「やまと21世紀ビジョン」で描いた30年後の奈良の未来像を実現する旅路へのテイクオフ(離陸)となる2010年までの5年間の行政運営の指針。
- ・県民の皆様をはじめ、NPO、企業、市町村、国などとの協働や協力を期待。

### ●「やまと21世紀ビジョン実施計画(2006～2010)」の特徴

この実施計画は、「平城遷都1300年記念事業」や「団塊の世代の大量退職が始まる2007年問題」、「構造改革や『公』の新しいあり方」など、この5年間で高まる中期的な視点を踏まえた上で、「やまと21世紀ビジョン」で設定している長期的な目標である「なら未来目標」を実現していくこととするもの。また、過去からの課題や緊急の課題などに対応するための取り組みも盛り込んでいる。

また、それぞれの施策や事業の実現を図るために、それぞれ2010年を目標年次とする具体的な数値目標を設定するとともに、事業単位では、その事業を進めていく主体を「県、民間(住民やNPO、企業等)、市町村、国」の4つに大きく分けている。

### ●実施計画を構成するプロジェクト

◇健康 ～みんなが元気で長生きする～

- ・子どもの頃からの健やか生活習慣
- ・働き盛り世代の健康づくり
- ・介護予防・寝たきり予防
- ・心の健康づくり
- ・患者中心の医療
- ・高度先進医療
- ・救命救急
- ・健康危機管理対策

◇福祉 ～高齢者や障害者が安心して地域で暮らす～

- ・地域・家族介護力の強化
- ・地域ケア拠点の整備
- ・介護サービスの充実
- ・地域生活基盤の整備

・障害者の就労支援

・UDのまちづくり

◇安全～自助・共助・公助で安全な社会を築く～

- ・自助・共助等による予防対策
- ・災害即応力の向上
- ・応急・復旧対策の推進
- ・豪雨出水対策の推進
- ・自主・地域防犯力の向上
- ・子ども安全と非行防止
- ・犯罪対応力の向上
- ・武力攻撃災害からの県民の保護
- ・社会生活の安全・安心

◇営む～地域の特性を生かした産業を興す～

- ・起業・新事業展開の促進
- ・新規成長産業の育成
- ・地域産業の振興
- ・産業人材の育成・確保
- ・産研学の連携と研究開発の推進
- ・市場の拡大促進
- ・プロ農業経営体の育成
- ・農地・森林等の有効活用
- ・林業木材産業の持続的発展
- ・農林業生産基盤の整備

◇働く～ライフスタイルに合わせて働く～

- ・仕事と生活の調和
- ・職業能力の開発と情報提供
- ・外国人労働者の就業環境整備
- ・女性への就業支援
- ・高齢者への就業支援
- ・就業意識の醸成

◇移動する～ひとものが快適に行きかう～

- ・幹線交通ネットワークの形成
- ・円滑な移動確保
- ・高齢者等の事故防止

◇歴史文化～新しい文化の古都「奈良」を創る～

- ・伝統文化・文化遺産の保存と活用
- ・地域文化への理解の醸成
- ・国際文化交流の推進
- ・平城遷都1300年記念事業
- ・歴史が薫る空間形成
- ・文化への親しみと新たな文化の創造

◇支えあい～互いを認めあい、地域を支えあう～

- ・「ボランティアライフ」の促進
- ・NPO等とのパートナーシップの構築
- ・ふれあい、助け合いの促進
- ・もてなしの心あふれる地域づくり
- ・在住外国人のコミュニティ活動参加の促進
- ・豊かな人権文化の創造
- ・男女がともに参画する社会づくり

◇ゆとり ～手間ひまかけて、じっくり過ごす～

- ・スローライフの推進
- ・スローフードの推進
- ・ゆとり空間の創出
- ・安心、快適住まいづくり
- ・潤い、安らぎ住宅地づくり

◇観光 ～泊まる、「奈良」。じっくり楽しむ～

- ・宿泊施設の充実
- ・国際観光（インバウンド）の推進
- ・魅力の創出・発掘
- ・心あたたまるおもてなし
- ・効果的な情報発信
- ・観光交通基盤

◇景観 ～ふるさと奈良の景観をみんなでつくる～

- ・みんなで進めるまちの景観づくり
- ・ごみのない美しい景観づくり
- ・沿道景観づくり
- ・大和まほろば景観づくり
- ・田園・里山景観づくり

◇にぎわい ～ひとびとがふれあい、にぎわう～

- ・「まちの顔」の再生
- ・歩いて暮らせるまちづくり
- ・合理的な土地利用の促進
- ・中山間地域の交流促進

◇子育て ～楽しく育て、健やかに育つ～

- ・家庭・家族づくり
- ・結婚・出産の応援
- ・家庭・家族のつながりの強化
- ・家庭の子育て力の強化
- ・地域の子育て力の強化
- ・養育支援ネットワークの形成
- ・ひとり親家庭の支援

◇学び ～自立した社会人を育て～

- ・基礎学力の定着
- ・社会性の育成
- ・基礎体力の向上
- ・教育条件の整備
- ・個性・能力の伸長
- ・多様なシステムによる学校運営
- ・リカレント教育の推進
- ・高等教育機関の充実
- ・私学の振興

◇環境 ～さまざまな命とともに生きる暮らしをつなぐ～

- ・廃棄物循環利用の促進
- ・奈良ゼロエミッションの推進
- ・清流とのふれあい
- ・「さわやかな空気」の創出
- ・自然との共生の推進
- ・脱温暖化の推進

◇行政経営 ～住民とともに協働し、効率的で開かれた行政経営を進める～

- ・行政情報の提供
- ・協働・参画の推進
- ・新しい行政の枠組みの検討・推進
- ・総合的な政策マネジメントの推進
- ・戦略的な人材育成
- ・行政サービスの向上
- ・自主財源の確保

#### ●実施計画の推進に向けて

1. 主体間の協働を意識した計画の着実な推進
2. 総合的な政策マネジメントの導入・推進

※詳しくは、奈良県ホームページ

<http://www.pref.nara.jp/vision/>

をご覧ください。